



「中学生キャリアフォーラム in みやざき」開催！

8月19日（土）に県教育研修センターを会場として、「中学生キャリアフォーラム」を開催した。県内各地から参加した中学生（約90名）は、地方創生に取り組む4名のゲスト講師からの熱いメッセージに聞き入っていた。また、講演の合間には3回のグループセッションを行い、熱心な議論も繰り広げられた。

第1部 講演

「今日よりも明日 明日よりも明後日 ～小さな積み重ねが夢を実現する～」

島根県邑南町役場農林振興課係長 寺本 英仁 氏

※NHK 番組「プロフェッショナル」に出演

○ 誕生 ～ 大学卒業まで

幼少の頃から、早く島根県（石見町）を出て行きたいと考えていた。広島県の高校、東京の大学へと進学し、大学生のときは、水中写真撮影に没頭した。海外にまで撮影に行っていた。

○ 石見町役場入庁 ～ 30歳まで

水中写真カメラマンになったが、経済的に苦しい日々が続き、祖母のすすめで地元の役場職員になった。その後30歳までは、水中写真撮影以外に、没頭できるものがない日々を送った。

○ 30歳の人生の転機

平成16年に、町村合併により石見町役場がなくなった。また、長男が小学校に入学する時、地域の保育園、小学校も廃校（園）になった。友人から、「役場職員のおまえが、水中写真ばかりやらずに、もっと頑張っていたらこうならなかったんじゃないのか？」と言われ、衝撃を受ける。自分が頑張らなければ、自分が大切にしていたものは守ることができないという事実気付いた。

○ 30歳からの挑戦と失敗

いざ頑張ろうと思っはみたが、実際に何を頑張っているのか分からなかった。役場で特産品のインターネット販売を始めた。全く売れずに、自分の家族に買ってもらった。友人にもお願いした。友人から「石見和牛って他の牛と何が違うの？」と聞かれたが、答えられない自分に啞然とした。自分の足で1件1件生産者を訪問した。そこで初めて生産者の並外れた努力や、東京にはない商品の魅力を知った。

○ 町営レストラン『AJIKURA』開店 ～ 現在まで

ミシュランの星がとれるようなレストランで邑南町の食材を提供したいという思いで、町営のレストランを開店した。100回以上東京に通い、一流のシェフを招くことができた。今では予約しないと食べられないほどの盛況である。10年前は、高校生の9割が邑南町を出たいと答えていたが、今は逆に9割が残りたいと希望している。これからも町の魅力を高め、更にふるさとを活性化させていきたい。



【長友まさ美氏によるインタビュー】

Q 厳しい課題に遭遇したとき、心が折れそうになったことは？

A とにかく、「やりたい！」という強い思いが大事で、1歩1歩前進していれば、必ずよい方向に向かうと思います。

Q 地域の宝物をたくさん見つけていますが、そのポイントは？

A まず、自分を好きになることが大切です。一番の宝物は自分です。自分が宝物だと思ったら宝物が集まってきます。自分を大切にできれば、周りの人だけでなく、すべてのことを大切にできます。



第2部 講演 「今 中学生に伝えたいこと ～働く大人へのインタビュー動画～」

てなんど小林プロジェクトメンバー 柚木脇 大輔 氏、吉丸 尚住氏 ※小林市 PR 動画作成等に尽力

柚木脇さん、吉丸さんは、事前に小林にゆかりのある働く大人へのインタビュー動画6本を撮影し、紹介した。インタビュー内容は、「中学生に戻れるなら何を頑張りますか？」「中学生に戻れるなら、将来の夢を何にしますか？」という2つの問いに答えてもらうという内容である。大人が後悔していることは何なのか？そして、もう1回やれるとしたら何がやりたいのか？という問いは、中学生にとって、今の自分を振り返ることができるだけでなく、将来の夢を実現する意味は何なのかについても深く考えさせる内容であった。



第3部 フリートーク

ジグソー形式で、4名の講師のブースに分かれ、フリートークを行った。終了後は、グループに戻り、各ブースでの内容についてのシェアリングを行った。



参加者のコメント (一部)

中学生より

「生き方という答えのない問題についてここまで熱く語っていただき、とても参考になった。自分の考える生き方について、熱く語れる大人になりたい。」

「地域活性化についてすごく興味があるので、寺本先生の話にとっても刺激を受けた。また、刺激を受けるだけでなく、受けて行動してみようと思った。自分の直感やワクワク、やりたい気持ちを大切にしたい。これからもっと勉強して、地元のために行動したいと思った。」

「地域に目を向けるということに関心を持ったことがなかったので、地域のために頑張っている方の話を聞いたことは、進路を考えていく上でとても新鮮であった。世界も大事だが、まず地域も考えていきたい。」

参加者 (保護者等) より

「地方創生という視点からも大変参考になる充実した内容であった。将来本県に残り、核となっていく人が今日の参加者の中から生まれるかもしれない。地域に根をはり、地域を元気にしている、まさに人財、宝である講師の方々は輝きを放っている。そして周囲の人へプラスの影響を与えていることを感じ取れた。」

担当者の眼

教育支援課 教育支援担当

北は高千穂から南は日南まで、県内各地から90名の中学生が自主的にフォーラムに参加した。中学生の多くは『地方創生』という言葉について聞いたことがあるかもしれないが、『地方創生』に取り組む大人から直接話を聞いたことはなかったのかもしれない。感想の中にも『将来、地域に貢献したい』という意見が多数寄せられていた。今後の本県の将来を担う若い中学生(人財)の熱い思いこそが、本フォーラムの一番の収穫であった。